

※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算  
 ※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、補正予算、人事案件、意見書以外のものを付議事件としています。

### ～第2回定例会のあらまし～

6月18日開会の第2回定例会に提案された議案は、条例3件、補正予算4件、人事案件2件、意見書6件、付議事件として報告2件、陳情1件、財産の取得1件及び工事請負契約の締結1件の合わせて20件でした。

うち、条例1件、補正予算4件、人事案件2件、財産の取得1件は、18日に全会一致または賛成多数で可決・同意・適任と答申。条例2件は、総務経済常任委員会及び厚生文教常任委員会の審査を経て、26日の最終日に全会一致で可決しました。また、26日は第1回定例会から継続審査としていた陳情第1号を全会一致で趣旨採択とし、追加提案の工事請負契約の締結1件、意見書6件を全会一致で可決したほか、18日に厚生文教常任委員会へ付託した陳情第2号は、継続審査としました。

### Pick Up

補正予算

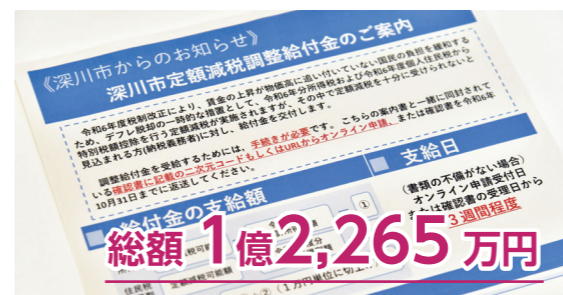
### 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業を含む補正予算案を可決

賛成多数

6月18日開会の第2回定例会において、物価高騰への対応として、生活支援等を図るための各事業費が計上された令和6年度一般会計補正予算（第1号）を可決しました。

事業の中から主なものを紹介します。

### 定額減税調整給付金事業



令和6年度税制改正により、デフレ脱却のための総合経済対策として、6年分所得税及び6年度分個人住民税の定額減税を十分に受けられないと見込まれる方に、定額減税しきれない額の合計額を万円単位に切り上げて給付金として交付する必要があります。

### エネルギー・食料品価格等物価高騰支援給付金



物価高騰等に直面する低所得者を支援するため、令和6年度新たな住民税非課税世帯及び新たな住民税均等割のみ課税世帯に対して、1世帯当たり10万円を給付し、こども加算として、18歳以下の方1人当たり5万円を給付するものです。

### 【主な議案】

■工事請負契約の締結について（新車両センター建築工事）

全会一致

道路の除排雪や維持作業などを行うための拠点施設となる新車両センター建築工事について、地域限定一般競争入札を6月12日に執行、2億8270万円で株式会社樋口組が落札し、仮契約を締結したもので、本契約の締結について議会の議決を得るものです。

■財産の所得（複合施設建設事業用地）

全会一致

生涯学習機能とバスターミナル機能等を併せ持つ複合施設の整備を図るため、深川駅西側を適地と選定し、土地所有者と取得交渉を進め、買収予定地9筆、5754・36平方メートルを、7091万4020円で市が取得することで協議が調ったことから、建設事業用地を取得するものです。

■深川市税条例の一部を改正する条例

全会一致

地方税法等の改正に伴い、個人住民税の定額減税に係る算定方法や通知方法等を法令の定めにとつとて新たに定めるほか、固定資産税において、災害時等における職権による減免を可能とする規定を追加するなど、所要の整備を行うものです。

■指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

全会一致

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴い、事業所の運営規程の概要やその他重要事項について、事業所内での書面掲示に加え、原則としてウェブサイトに掲載することを令和7年度から義務づけるなど、所要の整備を行うものです。

■教育委員会委員の任命

同意

阿部 みどり さん  
 教育委員会委員 阿部みどりさんの任期満了に伴い、引き続き同氏を任命したいとの提案があり、全会一致で任命に同意しました。

■人権擁護委員候補者の推薦

適任と答申

新谷 美智子 さん  
 旭川地方法務局長から依頼がありました人権擁護委員の候補者として、新谷美智子さんの推薦があり、全会一致で適任と答申しました。

意見書6件を全会一致で可決し、内閣総理大臣等に送付しました。

■刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書

■厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書

■生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書

■ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

■義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書

■2024年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

市議会だよりに掲載しきれなかった案件はHPで確認できます。



議決結果

## Pick Up

陳情審査

### 陳情第1号 再審法改正の意見書の提出を求める陳情

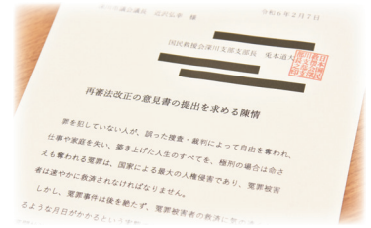
#### 全会一致で趣旨採択に決定 深川市議会として意見書を提出

令和6年第1回定例会において、陳情第1号「再審法改正の意見書の提出を求める陳情」が総務経済常任委員会に付託され、委員会を3月8日、5月27日及び6月21日の3回開催し、慎重に審査を行いました。

この陳情の趣旨は、冤罪被害者の一刻も早い救済のため、再審請求手続きにおける全面的な証拠開示を制度化すること、再審開始決定に対する検察官による不服申し立てに制限を加えることを国において速やかに実行するよう要望する、関係省庁への意見書の提出を求めるものです。

審査の中で、伊藤副委員長から「陳情の趣旨には賛同するが、刑事訴訟法の再審規定の改正は、法に携わる専門家が幾度となく協議を重ねていると認識しており、法の専門家ではない地方議会としては、地域住民の人権を守るという観点から、冤罪を生まない社会の構築のため、国及び関係機関において速やかに再審規定の改正がなされるよう求める意見書を提出したい。」として発言趣旨に沿った意見書の提出があり、意見の開陳後、伊藤副委員長から提出のあった意見書を全会一致で関係機関に送付すべきものとし、陳情第1号を全会一致で趣旨採択すべきものと決定しました。

その後、6月26日の令和6年第2回定例会最終日の本会議において、宮澤委員長が審査内容を報告し、陳情の趣旨採択と意見書の提出を全会一致で決定しました。



| 賛否が分かれた議案 |                              | 議員名（議席番号順） |      |       |      |       |       |       |       |      |       |       |       |       | 議決結果 |       |
|-----------|------------------------------|------------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
|           |                              | 伊藤美恵子      | 新田 旺 | 有働 正夫 | 村上 誠 | 松原やす子 | 佐々木一夫 | 大前 昭代 | 田畑 陽美 | 北村 薫 | 近沢 弘幸 | 鶴岡 恵司 | 宮澤 孝司 | 松本 雅祐 |      | 山本 時雄 |
| 第2回定例会    | 令和6年度深川市一般会計補正予算（第1号）        | ○          | ○    | ○     | ○    | ●     | ●     | ○     | ○     | ○    | —     | ○     | ○     | ○     | ○    | 可決    |
|           | 令和6年度深川市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）  | ○          | ○    | ○     | ○    | ●     | ●     | ○     | ○     | ○    | —     | ○     | ○     | ○     | ○    | 可決    |
|           | 令和6年度深川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | ○          | ○    | ○     | ○    | ●     | ●     | ○     | ○     | ○    | —     | ○     | ○     | ○     | ○    | 可決    |

※賛成=○、反対=●、近沢弘幸議長は採決に加わりません。

## 林活議連で第74回北海道植樹祭に参加



左から有働事務局長、山本副会長、田畑会長

深川市議会では、本市の森林・林業の活性化と山村経済の振興に寄与することを目的に、全議員で構成する森林・林業活性化推進議員連盟（以下、林活議連）を設置しています。

5月19日に苫小牧市で開催された第74回北海道植樹祭に、林活議連を代表し田畑会長、山本副会長、有働事務局長の3人が参加し、森林づくりへの理解を深めました。